

平成15年度環境報告書

近江鍛工株式会社

環境保全の歩み

- 1977年 大津市と公害防止協定締結
- 1981年 廃棄物収集処理の業者委託開始
- 1997年 社団法人滋賀県環境保全協会入会
- 1999年 環境マネジメント・システム構築に向けキックオフ
- 2000年 近江鍛工環境方針制定
滋賀グリーン購入ネットワーク入会
- 2001年 ISO14001 認証取得（認証機関：JQA）
認証番号：JQA-EM1346
大津市と環境保全協定締結
滋賀工業会・環境ISO研究会開催（25社参加）
- 2002年 大気環境負荷低減計画策定
- 2003年 美しい湖国をつくる会の県下一斉清掃運動に協賛・参加
廃棄物再生利用等情報制度（滋賀県環境事業公社）の活用
事務所内に喫煙コーナー（分煙機導入）設置、コーナー以外
では事務所内の喫煙全面禁止

環境理念

環境優先の理念をもって、自然環境と社会と人に優しい事業活動と環境作りに努め、環境保全の充実による豊かな企業を目指します。

環境方針

当社は、自社の活動を通し省資源、廃棄物の削減、騒音・振動・大気汚染の予防等に努め、継続的に改善することを約束します。
環境関係法規制、協定等を遵守します。
定常業務、非定常業務、及び事故等の緊急時でも地域社会に迷惑を掛けない様汚染防止を徹底して行います。
環境目的・目標を定め、年1回及び必要に応じて見直しを行い環境マネジメントシステムを確実に推進します。
全従業員が基本的な考え方を認識し、環境理念に沿った行動をする様教育を実施します。
当社は、環境理念・基本方針を要求に応じ公表します。

会社環境目的・目標

平成15年度の会社環境目的・目標を下記の通り定め、取り組みました。

騒音・振動の規制

加熱炉・熱処理炉に使用するLPG管理

電力消費の削減

油圧機器の管理、その他乗用車・トラック・フォークリフトの管理

廃棄物（不適合品、切り粉、ウェス他一般）削減への取組

緊急時：LPGタンク及び加熱炉からのガス漏れ

：機械設備及び水槽からの油の流出

目標展開実施結果

取組の結果は、いずれも下記の通り目標を達成しました。

騒音・振動とも規制値以下に抑制

LPG使用削減：目標値 127.3kg/t 結果 112.4 kg/t 削減率 11.7%

電力消費の削減： " 353 kw/t " 299.9kw/t " 15.0%

作動油の使用料： " 2,425 lt/月 " 2,529.5 lt/t " - 4.3%

廃棄物の削減等：パレット、事務用紙等のリサイクル化に努め

一般及び産業廃棄物の大幅な減量削減を図りました。

環境会計報告

環境省のガイドラインを参考にして作成しています。

(単位千円)

環 境 保 全 コ ス ト				
分 類	主 な 取 組 内 容		投 資 額	費 用 額
(1)事業エリア内 コスト	①公害防止	煤煙、排水、騒音、振動等測定費用		4,135
	②地球環境保全	より効率の良い炉に修理、改造、新設	78,225	3,500
	③資源循環	板パレット修理、古紙・煉瓦、廃油等処理		14,849
(2)上・下流コスト	グリーン購入ネットワーク会費			10
(3)管理活動コスト	ISO審査、登録維持費、社員教育費			2,267
(4)研究開発コスト				
(5)社会活動コスト	保全協会等会費			90
(6)環境損傷対応コスト				
コ ス ト 計			78,225	24,851

環 境 保 全 対 策 に 伴 う 経 済 効 果		
内 容	金 額	
(1)省エネによる費用節減	電力費及びLPG燃料費削減	
	52,649	
(2)有価物売却益	ダライ粉売却	
	7,747	
(3)廃棄物削減取組効果	スクラップ売却	
	4,197	
効 果 計	64,593	

(ご参考)

1. 排水測定結果 (測定日:平成15年10月28日)

項目	単位	法令基準	測定値	判定
水素イオン濃度 (pH)	at 20	6.0 ~ 8.5	7.5	
生物学的酸素要求量 (BOD)	mg / L	60	1.7	
化学的酸素要求量 (COD)	mg / L	60	3.2	
浮遊物質 (SS)	mg / L	60	1.5	
n - ヘキサン抽出物質 (油分)	mg / L	5	< 0.5	

2. 排ガス測定結果 (測定日:平成15年10月27日)

項目	単位	法令基準	測定値	判定
煤塵 (ダスト)	g / m ³ N	0.20	< 0.03	
硫黄酸化物 (SO _x)	m ³ N / h	0.85	< 0.02	
窒素酸化物 (NO _x)	cm ³ / m ³ N	140	11	

以上